

---

基本施策

次世代育成・子育て支援

施策の内容  
(小施策)

幼稚園・保育園の整備・充実

---

# 4-3 次世代育成 子育て支援

関連計画

刈谷市次世代育成支援行動計画  
2005年～2014年

現  
状  
と  
課  
題

少子化や核家族化の進行、地域社会のつながりの希薄化により、子育てに悩みや不安を持つ保護者が増えていることから、気軽に集まり話ができ、お互いの不安を相談できる場所や機会が求められています。

本市では、4か所の子育て支援センターが整備され、主に就園前の親子の遊び、相談の場を提供しています。また、ファミリー・サポート・センターは順調に会員数を伸ばし、利用者の多様なニーズに応えることができるようになっていきます。

今後は、行政のみでなく、地域住民のつながりを一層強化し、異年齢児や大人との交流ができ、気軽に相談し助け合うことのできる地域コミュニティの確立が望まれています。家庭、地域、事業者、行政がそれぞれの役割を担い、連携し、子どもの主体的、創造的な育成を図ることが求められるとともに、子育てを支援する市民の自主的活動の育成や支援が必要です。

一方、少子化が進行する中で、本市における合計特殊出生率は、全国や愛知県を上回る値を示しており、女性の社会参加を背景に、保育園の0～2歳児は待機児童が出ている状況です。市の組織改革を行い、幼稚園と保育園の窓口を一本化し、就学前児童の保育と幼児教育の充実を図っています。また、児童クラブにおいても待機児童が出ています。今後とも増加すると想定されるニーズに対応するため、幼稚園と保育園の連携や施設整備を進める必要があります。

また、子どもを取り巻く環境の変化、家庭や地域の子育て機能や教育力の低下が指摘される中、放課後の子どもが異学年や地域の大人と交流でき、安全・安心で健やかに過ごすことができる居場所の確保が求められています。

め  
ざ  
す  
姿  
(  
生  
活  
像  
)  
・  
目  
標  
指  
標

めざす姿 ～まちの状態～	現状値	目標値		
		2015年	2020年	
各地域に子育て支援団体があり、地域全体が連携して子育て家庭を支援しています。 子育てをしながら安心して社会参加ができる環境が整っています。	子どもを生み・育てやすいと思う市民の割合	75.8%	78%	80%
	ファミリー・サポート・センター登録会員数	1,947人	2,200人	2,400人

めざす姿 ～市民の暮らし～	現状値	目標値		
		2015年	2020年	
地域住民と子どもたちがのびのびと交流しています。 子どもたちが多様な経験や価値観を学んでいます。	幼稚園や保育園で子どもが多様な経験をし友達とふれ合い楽しく学んでいると思う保護者の割合	71.1%	76%	80%
	子育て支援団体数	8団体	15団体	20団体

ファミリー・サポート・センター……地域において育児の援助を受けたい人（依頼会員）と行いたい人（援助会員）が会員となり、育児について助け合う会員組織。

合計特殊出生率……15歳から49歳までの女性の年齢ごとの出生率の合計で、一人の女性が生涯に生む子どもの数を表す。

児童クラブ……仕事などで保護者が昼間家庭にいない小学校低学年児童が、学校終了後などに健全に過ごす場のこと。

療育……医療・治療の「療」と、養育・保育・教育の「育」を合体した造語。障害のある児童に対して、医学的治療だけでなく、教育その他の諸科学を駆使して、能力や可能性の開発を図ること。

放課後子ども教室……小学校などの施設を活用し、地域の人の参加を得て、子どもとともに遊びや体験、学習などの取組みを行う事業。

用  
語  
解  
説

### 1) 地域における子育て支援

2013 2016 2020

子育て支援センターで気軽に親子が集い、遊び、相談できる場を提供します。また、幼稚園と保育園においても子育て相談や講座を開催し、地域から信頼される開かれた園づくりに努めます。			
地域の子育て支援団体や子育てサークルの活動支援とネットワークの構築を図ります。			
ファミリー・サポート・センターの利用者の視点に立ち、多様なニーズに柔軟に対応できる体制の整備を図ります。			

### 2) 子どもが健やかに育つ環境づくり

2013 2016 2020

関係機関との連携により、児童虐待の防止や障害児療育の充実など、支援が必要な子どもが健やかに育つ環境整備を図ります。			
各種手当の支給やひとり親家庭の自立支援を充実し、子育て家庭の経済的負担の軽減やひとり親家庭の安定した暮らしを支援します。			
地域、事業者、行政が一体となり、子育て支援に関わる仕組みづくりに努めます。			

### 3) 保育・幼児教育の充実

2013 2016 2020

子どもの情緒の安定や基本的な生活習慣の確立、遊びや自然体験、直接体験の充実、人と関わる力の育成などを図り、心豊かで心身ともに健康な子どもを育成します。			
保育の専門知識や保育技術を習得する研修を充実し、保育士と教諭の資質向上を図ります。			
地域の施設や地域の教育力を活用し、地域、園、家庭の三者が協力して保育と幼児教育の充実を図ります。			

### 4) 幼稚園・保育園の整備・充実

2013 2016 2020

老朽化した園舎の増改築や現有する資源をいかし、保育環境の整備を推進します。			
幼稚園と保育園の連携強化を図り、保育園の待機児童の解消に努めます。			

### 5) 子どもの居場所づくり

2013 2016 2020

小学校敷地内への児童クラブの設置を推進するとともに、定員の拡充を図ります。			
放課後子ども教室において、地域住民の参加を得て、子どもの安全で安心な居場所づくりを推進するとともに、児童クラブとの連携を図ります。			
児童館を中心に、子どもや親子の遊び場、学習の場を提供するとともに、講座や行事を実施します。			

核家族化の進行や地域連携の希薄化などにより、子どもを取り巻く環境が大きく変化し、子育て機能の低下が危惧される中、地域住民主体の自主的な活動を基本に、地域社会全体で子育て家庭を応援するとともに子どもの育ちを支援する必要があります。



#### 市民の役割

家族は、子どもを愛情と責任を持って育てます。市民一人ひとりは、子どもと子育て家庭を応援する意識を持ちます。

自 助



#### 団体・事業者などの役割

地域社会全体で子どもと子育て家庭を応援するとともに、リーダー的な役割を果たし、子育て支援に取り組みます。また、仕事と子育てが両立しやすい環境づくりや、子育て家庭に配慮した職場づくりに努めます。

互 助



#### 行政の役割

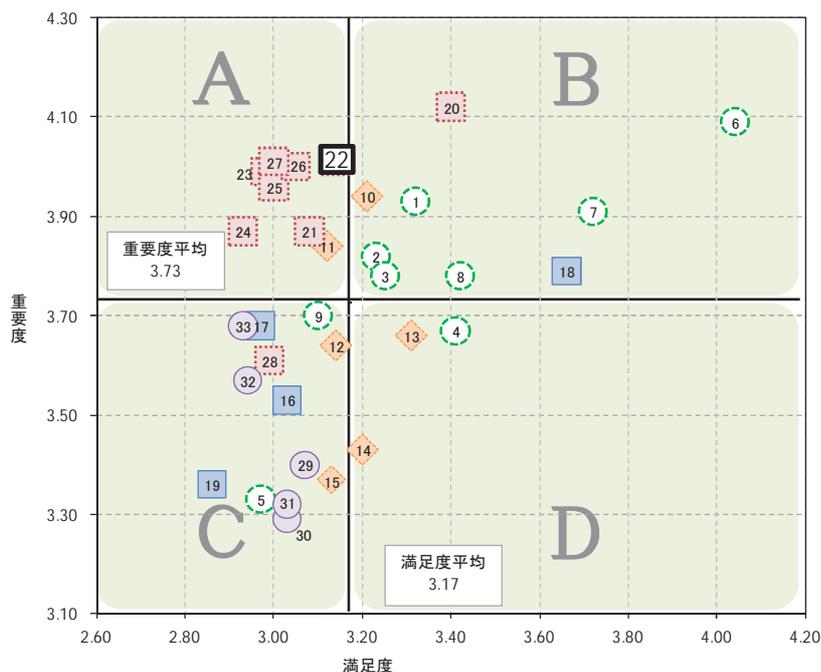
施設整備などの基盤整備に努めるとともに、子育て支援団体や子育てサークルの活動の支援に努めます。また、多様な家族形態や親の就労の有無に関わらず、すべての子どもの育ちを継続的に支援します。

公 助

基本施策 (大施策)	43 次世代育成・子育て支援
---------------	----------------

施策責任者	次世代育成部長
とりまとめ課	子育て支援課

市民に対する 市民の評価	重要度・満足度の評価項目			
	22	子育てしやすい環境の整備		
	区分	24年	27年	
	重要度	ポイント	3.96	4.01
		平均	3.71	3.73
	順位	6 / 33	3 / 33	
	満足度	ポイント	3.17	3.14
平均		3.15	3.17	
順位		13 / 33	13 / 33	



めざす姿 (生活像)	まちの状態	各地域に子育て支援団体があり、地域全体が連携して子育て家庭を支援しています。 子育てをしながら安心して社会参加ができる環境が整っています。
	市民の暮らし	地域住民と子どもたちがのびのびと交流しています。 子どもたちが多様な経験や価値観を学んでいます。

	指標名称	単位	実績値			目標値	
			24年度	25年度	26年度	27年度	32年度
目標指標 (大施策レベル) の 達成状況	ファミリー・サポート・センター登録会員数	人					
	ファミリー・サポート・センターは、地域において育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、育児について助け合う会員組織であり、その登録会員数		2,494	2,766	2,959	2,200	2,400
	子育て支援団体数	団体					
	子育て支援団体は、地域のボランティアが主体となり、絵本の読み聞かせや遊びなど乳幼児をもつ親子の交流の場や情報交換の場を地域で提供している団体。これらの団体同士のネットワークづくりため、ネットワーク会議を設けており、この会議への登録団体数のこと		11	11	11	15	20
成果指標	子どもを生き・育てやすいと思う市民の割合	%					
	「刈谷市は子どもを生き・育てやすいと思いますか？」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 (N=2,500)		75.8 (22年)	78.2 (24年)	78.1 (27年)	78.0	80.0
	幼稚園や保育園で子どもが多様な経験をし友達とふれ合い楽しく学んでいると思う保護者の割合	%					
「幼稚園・保育園で子どもがいろいろな経験をし、友達とふれ合い楽しく学んでいると思いますか？」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかというそう思う」と回答した保護者の割合 (N=4,000)		71.1 (22年度)	—	—	76.0	80.0	

施策の内容 (小施策)		434 幼稚園・保育園の整備・充実
小施策 の項目	①	老朽化した園舎の増改築や現有する資源をいかし、保育環境の整備を推進します。
	②	幼稚園と保育園の連携強化を図り、保育園の待機児童の解消に努めます。

小施策責任者	次世代育成部長
とりまとめ課	子ども課
①担当課	子ども課 財務課
②担当課	子ども課

	指標名称	単位	実績値			目標値	
			24年度	25年度	26年度	27年度	32年度
追加指標 (小施策 レベル)	大規模改造を行った園舎数	園	0	0	0	1	7
	・大規模改造は、経年劣化により通常発生する建物の損耗、機能低下に対する復旧措置等を行うこと ・計画的な大規模改造は、施設の延命化につながり、現有資源を最大限活用できる利点がある						
	公立保育園の増改築数 (H23~H32)	棟	0	0	3	4	7
	・老朽化の状態等から改築時期を計画的に設定 ・同時に増改築による面積拡大、定員増を実施						
	認可保育園の数	園	12	13	13	14	19
	国の基準を満たし、県の認可を受けた保育園						
	認可保育園の定員	人	1,590	1,700	1,730	2,087	2,682
	認可保育園で預かることができる児童の定員数 (31年)						
	認可保育園の申込者数 (4月入園)	人	1,770	1,797	1,862	2,103	2,330
	・申込者数には、在園児の進級見込者数も含む ・目標値は、ニーズ調査により把握した今後申込みが見込まれる人数 (31年)						
認可保育園の入園者数 (4月入園)	人	1,693	1,710	1,760	1,831	2,330	
実際に入園または進級した児童数 (31年)							
成果 指標	幼稚園預かり保育の数	人	8,068	18,829	26,839	37,500	45,000
	預かり保育は、午後2時30分までの通常保育終了後、午後4時まで延長して預かる制度 (保護者の就労、出産・傷病などによる入院、親族の介護、学校行事・ボランティア参加などが条件)						
待機児童数	人	6	4	6	8	0	
保育園に入所申請したが、入所しなかった児童の数 (入所申請したが、結果として認可外保育所、企業内託児所、幼稚園などに入園した場合などは、待機児童としてカウントしない)							

平成27年度 刈谷市小施策評価シート

施策の内容（小施策）	434 幼稚園・保育園の整備・充実
小施策の項目	① 老朽化した園舎の増改築や現有する資源をいかし、保育環境の整備を推進します。 ② 幼稚園と保育園の連携強化を図り、保育園の待機児童の解消に努めます。

●小施策を構成する事務事業

事業No.	小施策No.	事務事業名	（頁数）	担当課	投入コスト（※）						
					25年度			26年度			
					事業費 （千円）	人件費 （千円）	人工	事業費 （千円）	人件費 （千円）	人工	
1	① ②	園舎改修事業（保育園）	P58	子ども課	予算	33,000	368	0.05	12,600	366	0.05
					決算	23,172	351	0.05	11,275	352	0.05
2	① ②	園舎改修事業（幼稚園）	P60	子ども課	予算	13,900	368	0.05	44,400	513	0.07
					決算	8,526	351	0.05	36,256	493	0.07
3	① ②	園舎改築事業（保育園）	P62	子ども課	予算	20,000	368	0.05	25,000	366	0.05
					決算	15,960	351	0.05	15,218	352	0.05
4	① ②	幼稚園大規模改造事業	P64	子ども課	予算	—	—	—	6,729	366	0.05
					決算	—	—	—	5,184	352	0.05
5	① ②	空調設備整備事業（幼稚園）	P66	子ども課	予算	—	—	—	6,877	220	0.03
					決算	—	—	—	2,699	211	0.03
6	① ②	富士松南保育園園舎改築事業	P68	子ども課	予算	—	—	—	572,584	733	0.10
					決算	—	—	—	507,162	704	0.10
7	① ②	園舎増築事業（保育園）	P70	子ども課	予算	15,175	368	0.05	212,325	366	0.05
					決算	14,600	351	0.05	208,548	352	0.05
8	① ②	民間保育所運営支援事業	P72	子ども課	予算	550,009	1,842	0.25	817,404	1,832	0.25
					決算	498,314	1,753	0.25	750,105	1,760	0.25
9	②	預かり保育実施事業	P74	子ども課	予算	800	1,842	0.25	800	1,466	0.20
					決算	800	1,753	0.25	800	1,408	0.20
		その他の事務事業 （事業数）	8	子ども課	予算	61,373	2,944	0.40	146,638	4,176	0.57
					決算	58,653	2,808	0.40	134,387	4,013	0.57
構成事務事業数		17		投入コスト 合計	予算	694,257	8,100	1.10	1,845,357	10,404	1.42
					決算	620,025	7,718	1.10	1,671,634	9,997	1.42

※「投入コスト」に関する注意事項

- ・人件費は、便宜上、一般会計の平均人件費に人工を乗じて値を算出。  
 なお、人件費は、基本給に各種手当（扶養、地域、住居、通勤、特殊勤務、時間外勤務、管理職員特別勤務、管理職、期末、勤勉、単身赴任）と共済費を加えたものを指し、退職手当を含まない。  
 また、臨時職員等の人件費は、臨時職員等を必要とする事業の事業費に計上。

投入コスト（※）				事務事業評価（26年度決算）					の 予 算 対 応	（小 施 策 No.）	事務事業名	（頁 数）	事業 No.
27年度			必要性	効率性	妥当性	貢献度	方向性						
事業費 （千円）	人件費 （千円）	人工											
16,121	674	0.09	予算	高い	普通	高い	高い	改善・効率化	Ⅳ	① ②	園舎改修事業（保育園）	P58	1
—	—	—											
75,183	674	0.09	予算	高い	普通	高い	高い	拡充	Ⅰ	① ②	園舎改修事業（幼稚園）	P60	2
—	—	—											
41,000	749	0.10	予算	高い	高い	高い	高い	拡充	Ⅰ	① ②	園舎改築事業（保育園）	P62	3
—	—	—											
254,601	1,048	0.14	予算	高い	高い	高い	高い	拡充	Ⅰ	① ②	幼稚園大規模改造事業	P64	4
—	—	—											
352,000	524	0.07	予算	高い	普通	高い	高い	終期設定	Ⅸ	① ②	空調設備整備事業（幼稚園）	P66	5
—	—	—											
144,000	599	0.08	予算	高い	高い	高い	高い	終期設定	Ⅸ	① ②	富士松南保育園園舎改築事業	P68	6
—	—	—											
—	—	—	予算	高い	高い	高い	高い	休止・廃止	Ⅹ	① ②	園舎増築事業（保育園）	P70	7
—	—	—											
879,327	1,871	0.25	予算	高い	普通	高い	高い	現状維持	Ⅲ	① ②	民間保育所運営支援事業	P72	8
—	—	—											
800	1,497	0.20	予算	高い	普通	高い	高い	拡充	Ⅱ	②	預かり保育実施事業	P74	9
—	—	—											
112,249	5,542	0.74	予算	—	—	—	—	—	—		その他の事務事業（事業数）	8	
—	—	—											
1,875,281	13,178	1.76	予算										
—	—	—											

《予算対応の考え方》

方向性	拡充		V	Ⅱ	Ⅰ
	現状維持		Ⅵ	Ⅲ	
	改善・効率化		Ⅶ	Ⅳ	
	縮小		Ⅷ		
	終期設定		Ⅸ		
	休止・廃止	X			
		無	縮小	維持	拡充
		予算対応の考え方			

平成27年度 刈谷市小施策評価シート

施策の内容（小施策）	434 幼稚園・保育園の整備・充実	
小施策の項目	①	老朽化した園舎の増改築や現有する資源をいかし、保育環境の整備を推進します。
	②	幼稚園と保育園の連携強化を図り、保育園の待機児童の解消に努めます。

他市町村との比較検証	比較項目	待機児童数					単位	人
	刈谷市	碧南市	安城市	知立市	高浜市			
	8	0	0	0	0			
	備考	保育園に入所申請したが、入所しなかった児童の数 (入所申請したが、結果として認可外保育所、企業内託児所、幼稚園などに入園した場合などは、待機児童としてカウントしない)						
	比較項目	認可保育園（認定こども園）					単位	園
	刈谷市	碧南市	安城市	知立市	高浜市			
	14	14	33 (2)	13	8 (2)			
	備考	認可保育園……保育士の配置基準や施設について国の基準を満たし、県に認可された保育所 保育料は市が定め、世帯所得に応じて負担、対象児童は0歳児から5歳児 認定こども園…教育・保育を一体的に行う施設で国の基準を満たし、県が条例で定める。 保育料は市が定め、世帯所得に応じて負担、対象児童は0歳児から5歳児						
	比較項目	公立幼稚園					単位	園
	刈谷市	碧南市	安城市	知立市	高浜市	名古屋市		
	16	5	4	0	4	23		
	備考	・国の基準を満たし、県が認可した施設 ・保育料は一律8,100円。所得に応じて減免制度あり ・対象児童は3歳児から5歳児 刈谷市は、各小学校区（全15）に1以上の規模で設置されており、名古屋市に次ぐ県内第2位の数を誇る						
	比較項目	私立幼稚園（認定こども園）					単位	園
	刈谷市	碧南市	安城市	知立市	高浜市			
	2	0	9 (2)	4	1 (2)			
	備考	・主に学校法人が運営し、県が認可した施設 ・保育料は所得に応じて市が決定する。最高額は25,700円（新制度へ移行していない場合は園が決定） ・対象児童は3歳児から5歳児（一部の園では満3歳から）						
	比較項目	0歳から5歳の人口（平成26年10月）					単位	人
	刈谷市	碧南市	安城市	知立市	高浜市			
9,332	3,870	11,651	4,336	2,902				
備考								
比較項目	生産年齢人口（平成26年10月）					単位	人	
刈谷市	碧南市	安城市	知立市	高浜市				
97,496	43,393	117,251	45,707	29,170				
備考	生産年齢人口＝15歳から65歳までの人口							

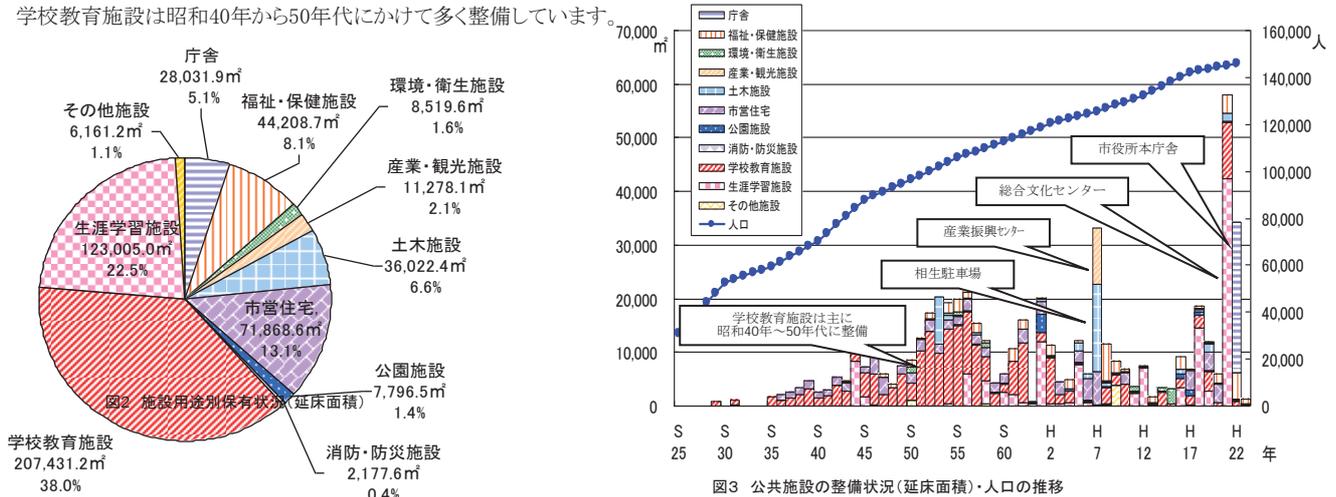
成果	①	<p>○公立保育園の老朽化等を解消するため、現有する施設の増改築を行うことにより保育環境の整備を推進することができた。また、あわせて施設を拡大し、待機児童対策を目的として定員を増加させることができた。 〔26年度 富士松南保育園改築（30人増）、慈友保育園増築（20人増）、東刈谷保育園増築（30人増）〕</p> <p>○民間保育園の新設や改築等に対して支援し、新たな保育環境を整備することができた。また、あわせて施設を拡大し、待機児童対策を目的として定員を増加させることができた。 〔25年度 第2こぐま保育園新設（110人増）、26年度 親愛の里保育園移転新築（30人増）、27年度 刈谷ゆめの樹保育園新設（90人増）〕</p> <p>○その他、外壁塗装や屋根防水など、幼稚園・保育園の改修については、公共施設維持保全計画に基づいて計画的に実施し、良好な保育環境の整備を推進するとともに、予防的な保全を実施することによって施設の延命化を行うことができた。</p> <p>○近年の夏場の猛暑に対応するため、公立幼稚園の保育室に空調設備を新たに設置し、保育環境を向上させることができた。（保育園は設置済み）</p>
	②	<p>○子ども課設置（21年度）から6年、幼稚園と保育園業務に関する窓口の一本化が定着し、就学前の児童の保護者のニーズに即して幼稚園や保育園等を案内することができた。</p> <p>○幼稚園と保育園との間で人事交流、研修や会議を合同開催することで、幼稚園と保育園の連携強化を進めることができ、保育と幼児教育ともに充実させることができた。</p> <p>○幼保連携の強化を進める中で、幼稚園で行う預かり保育の取組みを強化し、24年9月より従来の児童を預かる条件に「就労」を加えたことにより、短時間の就労に対応できるようにした。その結果、預かり保育の利用者は、24年度の延べ8,068人から26年度には延べ26,839人へと3倍以上の増加となった。保護者は就労していても幼稚園を選択することが可能となり、待機児童対策として一定の効果があったことが分かる。</p> <p>○施設の増改築や新設にあわせて施設を拡大し、定員を増加させ、待機児童対策に寄与することができた。</p>
現状分析と課題	①	<p>○昭和40年代から順次建築されてきた幼稚園・保育園の園舎本体や設備は、老朽化、陳腐化が進んできており、年々修繕費が増加する傾向にあることに加え、居住性や利便性に劣るため、築後40年程で大規模な改修が必要となる。また、園を運営しながらでの改修は、園児の安全性を考慮すると工事施工に制約が多く、あらかじめ工事手法や工事期間などの対応策を講じる必要がある。</p> <p>○公共施設維持保全計画に基づき保育環境の整備を進めている中、待機児童解消に向けて、公立保育園の増改築や民間保育園の新設などへの支援により定員増も図っているが、働きながら子育てを希望する女性が増え、保育園への入園希望者が予想以上に増加し、保育園の定員増を図るための整備が一層必要である。</p>
	②	<p>○本市は、1小学校区に1以上の公立幼稚園があり、県内では名古屋市に次ぐ規模である。その背景として、本市が幼児教育に力を入れてきたこと、自動車関連企業などの安定収入に支えられ、共働き世帯が少なかったことから幼稚園ニーズが高いという地域特性を持ち合わせている。</p> <p>○しかしながら、近年、働きながら子育てを希望する女性が増え、また27年4月から子ども・子育て支援新制度がスタートし、保育園の入園基準が緩和されたため、保育園入園希望者が予想以上に増加した。</p> <p>○27年3月に新たな子どもと子育ての総合的な計画として「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、その中で待機児童に関しては、保育園の増改築など既存施設の有効活用、民間保育園の新設、年齢ごとの定員数の調整、幼稚園の預かり保育などでの対応で解消に取り組むこととしているが、現在、入園希望者の増加に、対応策が追いついていない状況である。</p> <p>○本市では、幼稚園の入園を希望する保護者が多く、市内の3歳児から5歳児の約56%の児童が幼稚園に入園している。幼稚園の預かり保育の実施により、就労していても幼稚園を選択できるようになったものの、16時までの保育時間では短時間の就労の保護者にしか対応できない状況である。今後、より多くの保育ニーズに対応できるように受け入れ時間の延長や受け入れ人数の増加、それに対応するための幼稚園教諭などの受け入れ態勢の整備などを検討していく必要がある。</p>
今後の方向性	①	<p>○老朽化した幼稚園や保育園については、引き続き公共施設維持保全計画に基づき、建替えや大規模改修を行うことで、居住性や利便性を向上させ、適切な保育環境を確保する。その際、長期休暇の活用や、空き教室、近隣施設、仮設保育室などを効率的に活用する。</p> <p>○建物の延命化を図ることで、財政的負担を軽減し、また、投資を平準化するため、予防保全を取り入れた公共施設維持保全計画による効果的な修繕や改修を行う。</p> <p>○公共施設の改築など既存施設の有効活用や民間保育園への支援による新設を行うことで保育園の定員増を図りながら保育環境の整備を進めるとともに待機児童の解消を図る。</p>
	②	<p>○保護者ニーズへの対応や幼稚園・保育園の円滑な利用に向け、幼稚園の預かり保育の内容、利用時間、受入人数などの充実を図る。また、待機児童を解消するためにニーズに合った受け入れの対応ができるよう、幼稚園・保育園の連携をさらに強化する。</p> <p>○保育園不足の解消のため、26年度に策定した子ども・子育て支援事業計画における31年度までに保育ニーズを満たすための整備計画に基づき、保育園の改築などによる既存施設の活用や民間保育園の新設などへの支援により定員の増加を図り、待機児童解消を図る。</p>

# 刈谷市公共施設維持保全計画基本方針 概要版

## 公共施設の現状

### 保有状況

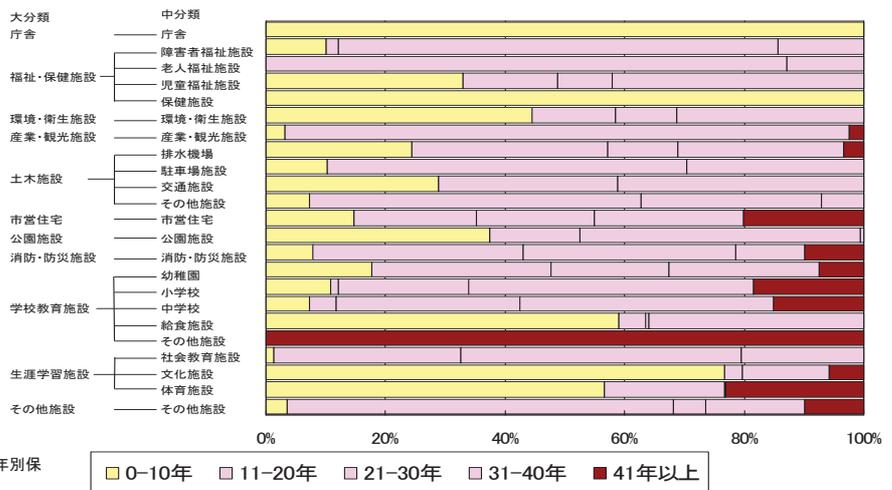
様々な分野における住民のニーズに応えるため、366施設・767棟、総延床面積約546,500㎡の公共施設を整備してきました。内訳は学校教育施設の延床面積が約207,431.㎡と最も大きく、全体の38.0%を占めています。次いで生涯学習施設の延床面積が約123,000㎡となり、全体の22.5%を占めています。本市の人口は、高度経済成長期の企業・工場立地を背景に増加の一途をたどっており、これにあわせ、小中学校や保育園、図書館など様々な公共施設の整備を進めてきました。学校教育施設は昭和40年から50年代にかけて多く整備しています。



### 整備状況

経過年数が10年以下の公共施設が28.0%となっていますが、一方で30年を超える公共施設が36.0%となっており、これらの耐用年数を60年とした場合、20年から30年後に建替時期を迎えることになります。

図5 施設用途別にみた公共施設の経過年別保有状況(延床面積)



### 劣化状況

過半数の公共施設において、「劣化が見られない」又は「ほぼ健全な状態」であり良好な状態を保っています。一方で、概ね経過年数とともに劣化が進む傾向にあります。劣化を放置すると、今後加速的に劣化が進む可能性が高くなるとともに、施設が本来保有すべき機能に支障が発生することもあり、早めに修繕・改修を行う必要があります。また、現在は良好な状態であっても、劣化の兆候を見逃さず予防的に維持保全を行うことも必要と

- 1: 劣化が見られない
- 2: ほぼ健全な状態
- 3: 劣化が進んでおり、放置すると機能低下または寿命が早まる
- 4: 劣化が進んでおり、大きな機能低下が生じている
- 5: 安全上支障をきたす恐れがあり、ただちに対策が必要

図7 施設用途別にみた公共施設の劣化状況(棟数)

## 平成24年度の予算状況

平成24年度当初予算の本市の一般会計歳出総額は、463億7千万円で、このうち公共施設の維持保全にあてられる経費は、約12億円となっており、これは、一般会計歳出総額の2.6%にあたります。

**一般会計歳出総額：463億7千万円**  
**維持保全経費：約12億円**

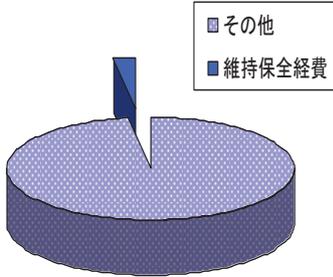


図8 一般会計歳出総額における維持保全経費の割合 (平成24年度当初予算)

## 維持保全費用の推計

施設の維持保全は、施設用途に応じ、部位別に適切な修繕・改修及び建替の周期を設定し、それぞれの周期に修繕・改修を繰り返し、耐用年数を迎えた公共施設は建替を実施します。

ここでは、各部位について修繕周期を平均15年、改修周期を平均30年、耐用年数を60年と一律に設定した場合の費用を修繕履歴等を考慮せず推計しました。

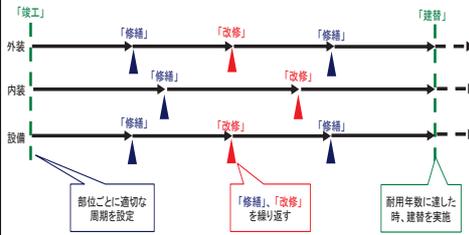


図8 修繕・改修・建替のイメージ

## 維持保全費用の推計結果

今後40年間では年度平均で概ね46億円の費用がかかり、特に老朽化の進んだ小中学校が更新を迎える平成40年代後半から50年代前半の時期に費用が集中しています。直近10年間では、年度平均で概ね27億円が必要となり、これは平成24年度に計上した予算規模(約12億円)を上回っています。

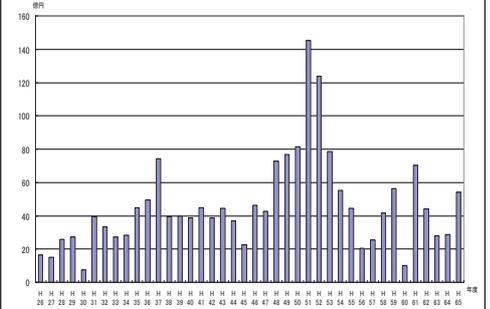


図9 公共施設の維持保全費用推計結果

# 維持保全計画の必要性

公共施設の維持保全費用推計結果から、中長期的に維持保全にかかる各年度の経費を縮減させていくとともに、各年度の予算を平準化していかななくてはなりません。

個別の施設ごとに対応をしていくのではなく、市の公共施設を全体的な視点で捉え、維持保全にかかる具体的な計画を検討していくことが必要となります。

## 1 公共施設の質の確保

公共施設は、良質な市民サービスを提供する拠点であり、その本来の目的に沿った機能が常に確保されている必要があります。

この機能に支障となる劣化や不適切な運営などが発生していないかを把握し、問題があれば速やかに対処することのできる体制を構築します。

### ①安全・快適で利用しやすい公共施設の整備

公共施設において市民が安心・快適に利用できる施設機能を常に確保するために、適切な内容・タイミングで修繕・改修を行います。

### ②情報の一元化と評価

公共施設の情報を一元的に収集、共有することにより、各施設の機能が確保されているかをチェック、評価できる仕組みを構築します。

また、施設管理者も自身で機能状況を確認できるように、統一的な基準を示した維持保全のためのマニュアルを作成します。

### ③評価の反映

評価の結果を常時分析し、公共施設の機能低下が発生しないように、適切かつ計画的な対応を行います。評価を客観的に分析し、優先順位をつけた上で修繕・改修・建替の計画を行います。

## 2 コストの削減

公共施設の質を確保するための費用について、ライフサイクルコストの観点からコスト最小化を目指します。

社会情勢の変化や利用者のニーズ及び利用形態の変化等を勘案し、経過年数が多い公共建築物については施設のあり方、存続についても検討を行います。

### ①公共施設の長寿命化

修繕・改修を計画的・予防的に行うことにより、劣化の進行を遅らせ、公共施設の機能低下を長期間抑えていきます。建替にかかる巨額の費用や突発的に起こる過大な改修費用を抑え、ライフサイクルコストが低減します。

### ②維持管理費用の削減

修繕・改修による公共施設の維持保全のほか、光熱水費、保守点検費などの維持管理費用の削減を目指します。光熱水費や保守点検費の実績をデータベース化し、全庁で共有することにより、客観的で透明性を持った削減目標管理が可能になります。

## 3 各年度支出の平準化

今後の不透明な財政状況に備え、各年度の維持保全にかかる経費をできるだけ抑制すると同時に、一時期に極端に経費が集中しないように配慮していく必要があります。

### ①維持保全の優先順位の設定

公共施設のデータベースを構築・共有し、組織横断的な視点から、各年度に必要な修繕・改修・建替工事を決定していきます。

工事を実施するための判断基準の整備や各部署が協力しつつ計画を策定していくことのできる体制整備を行います。

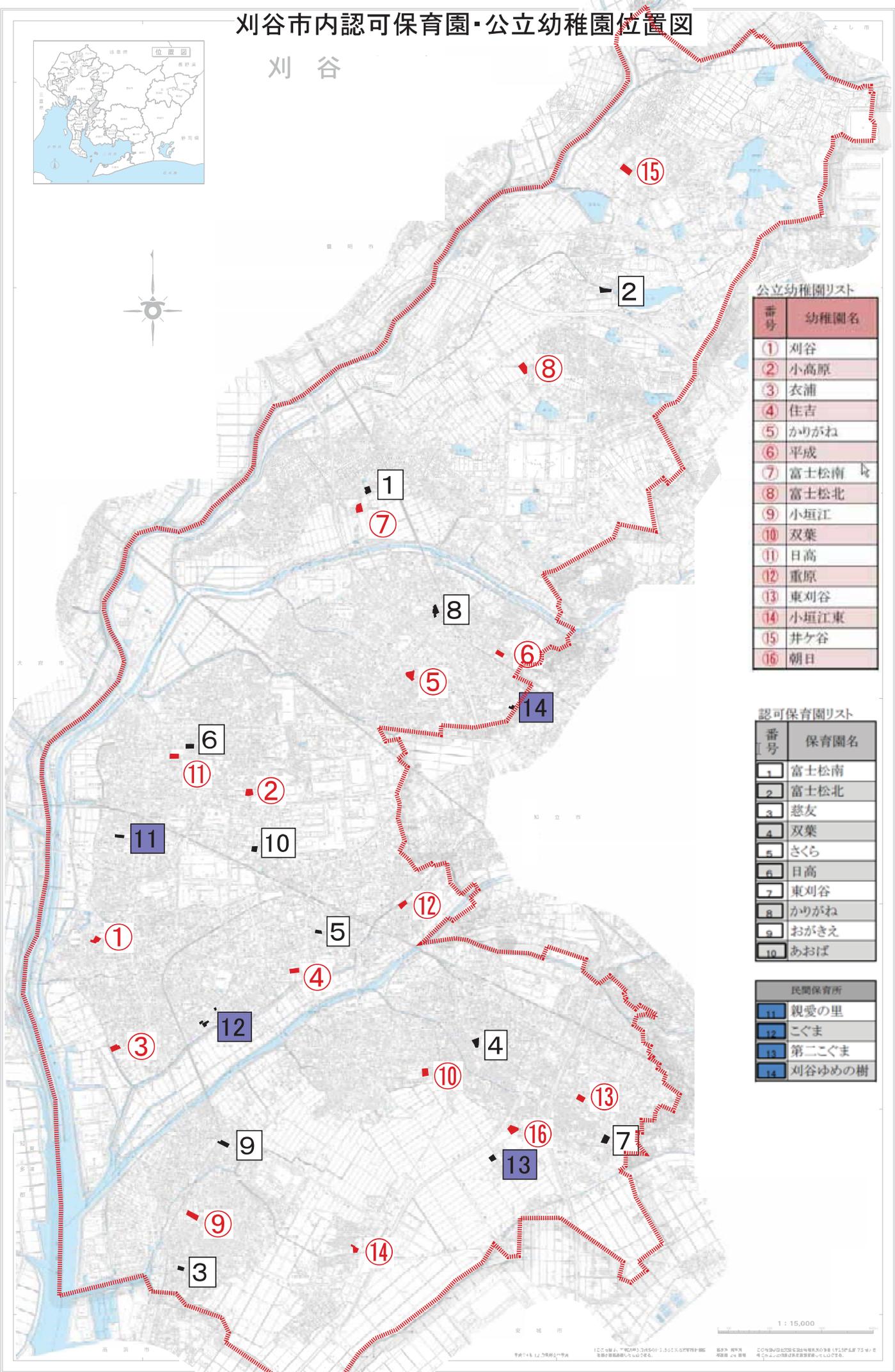
### ②財政計画との連動

中長期的な維持保全費用を事前に定め、一定予算の枠内に維持保全費用を収めるための調整を行い、維持保全計画を財政計画と連動させます。

また、基金を活用することにより、一般財源による支出の平準化を図ります。

# 刈谷市内認可保育園・公立幼稚園位置図

刈 谷



## 公立幼稚園リスト

番号	幼稚園名
①	刈谷
②	小高原
③	衣浦
④	住吉
⑤	かりがね
⑥	平成
⑦	富士松南
⑧	富士松北
⑨	小垣江
⑩	双葉
⑪	日高
⑫	重原
⑬	東刈谷
⑭	小垣江東
⑮	井ヶ谷
⑯	朝日

## 認可保育園リスト

番号	保育園名
1	富士松南
2	富士松北
3	慈友
4	双葉
5	さくら
6	日高
7	東刈谷
8	かりがね
9	おがきえ
10	あおば

## 民間保育所

11	親愛の里
12	こぐま
13	第二こぐま
14	刈谷ゆめの樹

1 : 15,000

刈谷市内 保育園・幼稚園 減価償却費等一覧

※平成25年度決算ベース

No.	園名	開園 (年)	建設 (年月)	職員数	延床面積 (㎡)	取得額 or 再調達価額 (円)	減価償却額 (円)	最新の簿価 (円)	減価償却 累計額 (円)	構造	用途	棟数	耐用 年数 (年)
幼稚園	1 刈谷幼稚園	T14	S44.12	10	1,652	347,110,000	8,009,670	140,916,760	206,193,240	RC造	園舎	2	47
										RC造	倉庫	1	38
										S造	園舎	3	34
	2 小高原幼稚園	S25	S58.3	9	1,581	249,130,000	5,647,260	96,643,060	152,486,940	RC造	園舎	2	47
										S造	園舎	2	34
	3 衣浦幼稚園	S22	S59.2	9	1,265	268,070,000	6,086,020	116,280,800	151,789,200	RC造	園舎	2	47
										S造	園舎	2	34
	4 住吉幼稚園	S43	S43.8	6	978	134,300,000	1,866,360	17,080,600	117,219,400	RC造	園舎	1	47
										S造	園舎	2	34
										S造	倉庫	1	31
	5 かりがね幼稚園	S40	H5.3	10	2,045	603,650,000	13,412,700	324,962,300	278,687,700	RC造	園舎	1	47
										S造	園舎	1	34
	6 平成幼稚園	H4	H4.3	8	1,567	397,680,000	8,879,670	205,884,870	191,795,130	RC造	園舎	1	47
										RC造	倉庫	1	38
										S造	園舎	2	34
	7 富士松南幼稚園	S45	H10.3	10	1,986	469,910,000	10,359,820	304,152,880	165,757,120	RC造	園舎	1	47
RC造										倉庫	1	38	
8 富士松北幼稚園	S46	H11.3	8	1,717	403,120,000	8,868,640	270,090,400	133,029,600	RC造	園舎	1	47	
9 小垣江幼稚園	S44	H17.3	7	1,830	405,700,000	8,945,150	325,300,300	80,399,700	RC造	園舎	1	47	
									RC造	倉庫	1	38	
10 双葉幼稚園	S46	S46.10	8	1,344	218,360,000	5,135,440	40,852,700	177,507,300	RC造	園舎	2	47	
									S造	園舎	2	34	
11 日高幼稚園	S48	S49.3	7	1,430	237,080,000	5,611,920	54,381,680	182,698,320	RC造	園舎	2	47	
									S造	園舎	2	34	
12 重原幼稚園	S51	S51.2	6	807	123,840,000	2,865,600	29,455,200	94,384,800	RC造	園舎	1	47	
									S造	園舎	2	34	
13 東刈谷幼稚園	S52	S52.12	9	1,520	252,670,000	5,650,980	83,350,060	169,319,940	RC造	園舎	3	47	
									S造	園舎	1	34	
14 小垣江東幼稚園	S53	S53.3	6	888	136,000,000	3,113,280	33,472,720	102,527,280	RC造	園舎	1	47	
									S造	園舎	1	34	
15 井ヶ谷幼稚園	S54	S54.3	7	1,373	223,540,000	5,019,080	90,733,920	132,806,080	RC造	園舎	2	47	
									S造	園舎	1	34	
16 朝日幼稚園	H15	H15.3	8	1,867	424,390,000	9,359,930	321,430,770	102,959,230	RC造	園舎	1	47	
									RC造	倉庫	1	38	
小計				128	23,850	4,894,550,000	108,831,520	2,454,989,020	2,439,560,980				
保育園	1 富士松南保育園	S28	S49.1	13	1,132	203,670,000	4,480,740	24,440,400	179,229,600	RC造	保育室	1	47
	2 富士松北保育園	S29	S51.3	15	1,271	291,410,000	6,411,020	47,791,240	243,618,760	RC造	保育室	1	47
	3 慈友保育園	S27	S55.3	12	1,004	201,110,000	4,424,420	55,104,140	146,005,860	RC造	保育室	1	47
	4 双葉保育園	S28	S58.3	14	1,248	330,640,000	7,274,080	133,604,920	197,035,080	RC造	保育室	2	47
	5 さくら保育園	S24	S48.4	12	1,010	143,420,000	3,155,240	14,055,160	129,364,840	RC造	保育室	1	47
	6 日高保育園	S53	S53.4	12	1,251	383,180,000	8,429,960	79,701,440	303,478,560	RC造	保育室	1	47
	7 東刈谷保育園	S57	S57.4	15	1,364	338,670,000	7,450,740	133,281,740	205,388,260	RC造	保育室	2	47
	8 かりがね保育園	H5	H5.4	15	1,626	350,660,000	7,714,520	188,655,080	162,004,920	RC造	保育室	1	47
	9 おがきえ保育園	H17	H17.4	-	1,755	467,361,581	10,281,955	374,823,988	92,537,593	RC造	保育室	1	47
	10 あおば保育園	S47	H21.1	-	1,647	327,720,224	7,209,844	291,671,004	36,049,220	S造	保育室	1	47
小計				108	13,308	3,037,841,805	66,832,519	1,343,129,112	1,694,712,693				
合計				236	37,158	7,932,391,805	175,664,039	3,798,118,132	4,134,273,673				

## 保育園・幼稚園について

平成27年4月1日現在

	保育園（認可保育園）	公立幼稚園								
施設内容	保育園は、保護者が働いていたり、病気にかかっているなどの理由により家庭内で保育が必要とされる状態にある乳幼児を保護者に代わって保育することを目的とする児童福祉施設です。	一人一人のよさを大切にしながら、家庭と力を合わせて、幼児の健やかな成長と発達を促すことを目的としています。そして、友達や先生と一緒に生活する中で、自分で行動する意欲や態度、人とかかわる力、友達を思いやる心などを育てています。								
対象児童	0～5歳児	3～5歳児								
園数	14園	16園								
児童数	1,851人	2,487人								
保育時間	7:30～18:00 3園 7:30～18:30 3園 7:30～19:00 2園 7:30～19:30 4園 7:00～20:00 2園	3歳児 8時40分～13時30分（4～9月） 8時40分～14時30分（10～3月） 4・5歳児 8時40分～14時30分（4月～3月）								
保育料（月額）	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">年齢</td> <td>保育料（最高額）</td> </tr> <tr> <td>0～2歳児</td> <td>47,000円</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>24,400円</td> </tr> <tr> <td>4・5歳児</td> <td>21,000円</td> </tr> </table> <p>※保育料は児童の年齢と保護者の市民税などの課税額に応じて算定します。</p>	年齢	保育料（最高額）	0～2歳児	47,000円	3歳児	24,400円	4・5歳児	21,000円	<p>保育料月額 8,100円</p> <p>※保育料は保護者の市民税などの課税額に応じて減免規定があります。</p>
年齢	保育料（最高額）									
0～2歳児	47,000円									
3歳児	24,400円									
4・5歳児	21,000円									
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立 10園</li> <li>・私立 4園</li> </ul>	<p>預かり保育（在園児対象）</p> <p>母親の出産、家族の病気や入通院、学校行事、ボランティア活動、昼間の就労、その他緊急な事情により保育が必要な在園児を対象に預かります。</p> <p>(1) 保育時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常保育実施日 降園時刻～16:00</li> <li>・長期休業期間 (夏期、冬期、学年末休み) 8:40～16:00</li> </ul> <p>(2) 利用料 利用1回につき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半日 200円 (降園時刻～16:00まで、午前のみ、午後のみ)</li> <li>・全日 400円 (8:00～16:00)</li> </ul>								

## 児童の通園状況

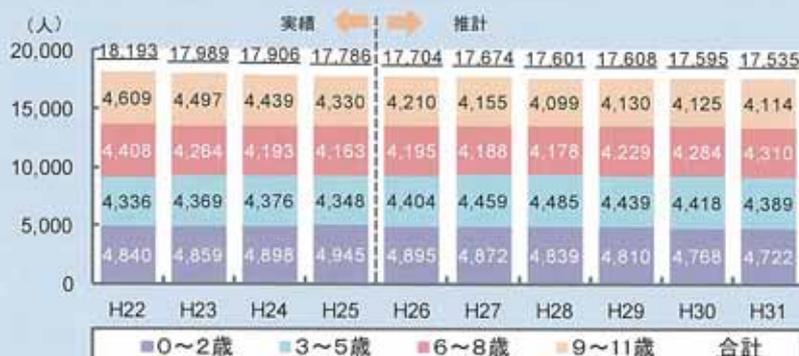
平成27年4月1日

年 齢	0～2歳児	割 合	3～5歳児	割 合	合 計
人 口	4,892	/	4,472	/	9,364
認可保育園	600	12%	1,251	28%	1,851
公立幼稚園	0	0%	2,487	56%	2,487
私立幼稚園 (市外の幼稚園含む)	4	0%	468	10%	472
認可外保育所	178	4%	29	1%	207
企業内保育所	99	2%	22	0%	121
その他 (家庭で保育等)	4,003	82%	215	5%	4,218
待機児童	8	0%	0	0%	8

# 子ども・子育てを取り巻く現状

## 統計からみる刈谷市の状況

### 児童人口の推計



本市の児童人口（0～11歳）は、今後、大幅ではないものの減少傾向で推移していくことが予測されています。

資料：住民基本台帳及び外国人登録人口（各年10月1日）、推計はコーホート変化率法により算出

### 合計特殊出生率

本市の合計特殊出生率は増加傾向にあり、国・県を上回って推移しています。

平成20年と比較して0.18増加し、平成24年で1.76となっています。



資料：「愛知県衛生年報」、刈谷市（各年10月1日）

### 女性の労働力率

本市の女性の労働力率をみると、子育て期にあたる30歳代の割合が低くなっており、M字カーブを描いています。

平成12年と平成22年を比較すると、M字の谷の部分の浅くなってきており、子育て期でも働く女性が増加していることがうかがえます。



資料：国勢調査（各年10月1日）



会計名			園舎改修事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	施設係		
3	2	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実							
	目的	昭和40年代後半から順次建築され、老朽化してきている保育園の園舎等を比較的大規模に改修することにより、良好な保育環境の維持と施設の延命化を図る。			主たる内容	○老朽化した保育園園舎、施設等の改修 ○保育園園舎、施設等の延命化のための予防的な保全				
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画							
		根拠法令								
		対象者	保育園児、保護者			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・慈友保育園屋根防水補修工事</li> <li>・さくら保育園外壁塗装補修工事</li> <li>・日高保育園1歳りす組手洗い設置工事</li> <li>・東刈谷保育園パーテーション設置工事</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・慈友保育園外壁塗装改修工事</li> <li>・日高保育園外壁塗装改修工事</li> <li>・双葉保育園屋根防水工事</li> <li>・双葉保育園調理室排水改修工事</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・東刈谷保育園屋上防水改修工事</li> <li>・日高保育園保育室床改修工事</li> <li>・東刈谷保育園保育室木製建具取替工事</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日高保育園大規模改修工事設計委託</li> <li>・双葉保育園ダムウェーター改修工事</li> <li>・東刈谷保育園ダムウェーター改修工事</li> <li>・双葉保育園遊戯室パーテーション設置工事</li> </ul>		
成果		老朽化した園舎、施設等を改修し、保育環境を良好なものに改善するとともに、予防的に施設を保全し、施設の延命化を図ることができた。								
課題		本事業は主に園舎、施設等の大規模な改修を行うものであるが、近年、施設等の老朽化が激しく、改修箇所は増加してきている。今後は、単年度に経費が集中しないよう、公共施設維持保全計画に基づき、改修計画を策定する必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		屋上防水工事実績数（園）				1	1	1	—	2
活動指標		外壁改修工事実績数（園）				1	2	0	—	2
他市との比較検証		施設保全計画に基づいて改修・改築を行っている市・・・安城市 施設保全計画を定めていない市・・・碧南市、知立市、高浜市								
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		15,535	23,172	11,275	16,121	合計	11,274,876 円		
	財源	特定財源	0	0	0	2,000	工事請負費	11,274,876 円		
		一般財源	15,535	23,172	11,275	14,121				
	職員人件費 ②		707	351	352	674				
	総事業費（①+②）		16,242	23,523	11,627	16,795				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0		—————						
28年度以降の事業費見込		0								

会計名			園舎改修事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
3	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>	高い	良好な保育環境を提供するために必要性の高い事業である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>	普通	単年度に経費が集中しないように計画的な執行が必要である。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>	高い	老朽化してきた施設を改修し、保育環境を向上させる事業であり、市の主体的な関与が必要である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>	高い	保育園の整備・充実に寄与している。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
刈谷市全体の公共施設を計画的に維持・保全し効率的に運営する手法としてファシリティマネジメント（FM）の概念を導入し、将来の維持・保全費用の推計結果及び公共施設の現況調査結果をもとに、今後の最も望ましい施設運用のあり方を示す「刈谷市公共施設維持保全計画」を平成24年に策定した。 今後は、計画の進行管理を行いながら、それぞれの施設を時代に即した最適な状態に保っていくと同時に、ライフサイクルコストの削減や建替え、大規模改修工事などの将来負担費用の平準化に向けた取組みを実施し、施設の性質などを考慮しての保全に係る優先順位を定め、適正な施設管理に努める。					

会計名			園舎改修事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	4	1							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実						
	目的	昭和40年代前半から順次建築され、老朽化してきている幼稚園の園舎等を比較的大規模に改修することにより、良好な保育環境の維持と施設の延命化を図る。			主たる内容	○老朽化した幼稚園園舎、施設等の改修 ○幼稚園園舎、施設等の延命化のための予防的な保全			
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
		根拠法令							
		対象者	幼稚園児、保護者			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		・双葉幼稚園ほか3園網戸設置工事		・住吉幼稚園遊戯室棟屋上防水改修工事 ・富士松北幼稚園目地シール打替工事 ・小高原幼稚園ほか3園網戸設置工事		・小高原幼稚園屋上防水工事 ・衣浦幼稚園屋上防水工事 ・井ヶ谷幼稚園屋上防水工事 ・井ヶ谷幼稚園外壁改修工事		・東刈谷幼稚園大規模改造設計委託 ・双葉幼稚園大規模改造設計委託 ・小垣江幼稚園大規模改造設計委託 ・刈谷幼稚園屋上防水工事 ・富士松北幼稚園網戸設置工事 ・遊戯室耐震天井改修工事	
成果		老朽化した園舎、施設等を改修し、保育環境を良好なものに改善するとともに、予防的に施設を保全し、施設の延命化を図ることができた。							
課題		本事業は主に園舎、施設等の大規模な改修を行うものであるが、近年、施設等の老朽化が激しく、改修箇所は増加してきている。今後は、単年度に経費が集中しないよう、公共施設維持保全計画に基づき、改修計画を策定する必要がある。							
O 実施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度
	活動指標	大規模改造設計（園）			0	0	1	3	1
	成果指標	屋上防水工事（園）			0	1	3	1	2
他市との比較検証	施設保全計画に基づいて改修・改築を行っている市・・・安城市 施設保全計画を定めていない市・・・碧南市、知立市、高浜市								
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費①		4,305	8,526	36,256	75,183	合計	36,256,248 円	
	財源	特定財源	0	0	0	24,628	委託料	2,602,800 円	
		一般財源	4,305	8,526	36,256	50,555	工事請負費	33,653,448 円	
	職員人件費②		707	351	493	674			
	総事業費（①+②）		5,012	8,877	36,749	75,857			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0		_____					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			園舎改修事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
10	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	良好な保育環境を提供するために必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	単年度に経費が集中しないように計画的な執行が必要である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	老朽化してきた施設を改修し、保育環境を向上させる事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	幼稚園の整備・充実に寄与している。
今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
<p>刈谷市全体の公共施設を計画的に維持・保全し効率的に運営する手法としてファシリティマネジメント（FM）の概念を導入し、将来の維持・保全費用の推計結果及び公共施設の現況調査結果をもとに、今後の最も望ましい施設運用のあり方を示す「刈谷市公共施設維持保全計画」を平成24年に策定した。</p> <p>今後は、計画の進行管理を行いながら、それぞれの施設を時代に即した最適な状態に保っていくと同時に、ライフサイクルコストの削減や建替え、大規模改修工事などの将来負担費用の平準化に向けた取組みを実施し、施設の性質などを考慮しての保全に係る優先順位を定め、適正な施設管理に努める。</p>					

会計名			園舎改築事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実						
	目的	築40年以上経過して老朽化した保育施設を建設用地を生かし、園の運営に支障のないような改築を行うことで、保育園の良好な保育環境の維持を図る。	主たる内容	○老朽化した保育園園舎改築等の設計					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	園児	事業期間	平成25年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
				・富士松南保育園園舎改築設計業務委託の実施		・さくら保育園園舎改築の設計業務委託		・富士松北保育園園舎移転新築設計業務の委託	
成果		富士松南保育園の改築は、北側園庭に収まるように計画することでコストを抑えることができ、老朽化の進んだ園舎を、ゆとりある良好な保育環境に改善する設計ができた。 また、さくら保育園は近隣の公園用地に園舎の改築をすることで、運営しながら工事を行うことができる計画を立てることができた。							
課題		富士松南保育園は園庭が利用できない期間があり、園の運営に多少支障が生じる計画となった。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
成果指標		設計で可能となった定員数の増分(人)（富士松南保育園）		—	30	—	—	—	
成果指標		設計で可能となった定員数の増分(人)（さくら保育園）		—	—	30	—	—	
他市との比較検証		施設保全計画に基づいて改修・改築を行っている市・・・安城市 施設保全計画を定めていない市・・・碧南市、知立市、高浜市							
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	15,960	15,218	41,000	合計	15,218,280 円	
	財源	特定財源	0	0	0	20,000	委託料	15,218,280 円	
		一般財源	0	15,960	15,218	21,000			
	職員人件費 ②		0	351	352	749			
	総事業費（①+②）		0	16,311	15,570	41,749			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0	—						
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			園舎改築事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
3	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	良好な保育環境を提供するために、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		高い	既存の敷地内に計画することで土地を取得する必要がなく、大規模な改修のための園運営への影響を防ぐことができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	老朽化していた施設を建替えて保育環境を向上させる事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	保育園の整備・充実に寄与している。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
老朽化した園舎を計画的に建替を行うことにより、良好な保育環境を確保し、適切な設計を行うことにより、安全で環境に配慮したコストを抑えた計画をおこなう。					

会計名			幼稚園大規模改造事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	4	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実						
	目的	幼稚園の園舎は、昭和40年代前半から順次建築されており、経年劣化による老朽化から破損等が各所に見られるため、園の運営に配慮しながら、大規模な改造工事による施設の保全及び保育環境の改善を図る。	主たる内容	○幼稚園大規模改造工事の設計					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	幼稚園児、保護者	事業期間	～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		_____		_____		・日高幼稚園大規模改造工事設計委託		・日高幼稚園の大規模改造工事の実施	
成果		老朽化による建物の損耗や機能低下の復旧を目的とした幼稚園園舎の大規模改造の設計業務委託を行い、良好な保育環境への改善が見込まれる設計ができた。							
課題		コストを抑えた計画になったが、夏休みの園の運営などに少なからずも支障が生じた。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
活動指標		大規模改造計画棟数（棟）		—	—	1	3	—	
指標		_____							
他市との比較検証		施設保全計画に基づいて改修・改築を行っている市・・・安城市 施設保全計画を定めていない市・・・碧南市、知立市、高浜市							
C 事業コスト 建設事業		単位：千円	24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①	0	0	5,184	254,601	合計	5,184,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	253,031	委託料	5,184,000 円	
		一般財源	0	0	5,184	1,570			
	職員人件費 ②	0	0	352	1,048				
	総事業費（①+②）	0	0	5,536	255,649				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0	_____						
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			<b>幼稚園大規模改造事業</b>	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
10	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	良好な保育環境を提供するために、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		高い	夏休みに集中的に工事を行なうことで、仮設園舎の準備をすることなくコストを抑え、園の運営に配慮できた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	老朽化していた施設を改修して保育環境を向上させる事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	幼稚園の整備・充実に寄与している。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
老朽化した園舎を建替することなく改修することで、建設コストを抑え、また改修サイクルを平準化することで、財政に負担なく良好な保育環境が確保する。					

会計名		空調設備整備事業				担当部	次世代育成部		
一般会計						担当課	子ども課		
款	項					目	担当係	施設係	
10	4					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実						
	目的	現在天井扇風機のみで保育をしているが、保育室へ冷暖房設備を設置することにより、夏場の猛暑による園児への負担を軽減する。	主たる内容	○各幼稚園保育室への冷暖房設備の設置					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	園児、教諭		事業期間	平成26年度～平成27年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O 実績 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
						・各幼稚園保育室空調機設置の設計		・各幼稚園保育室空調機設置	
成果		夏場の猛暑による園児の負担を軽減させるため、保育室に空調機を設置し、保育環境の向上と園児の健康不安の解消が見込まれる設計ができた。							
課題		春休みに工事着手できたが、休み期間中に工事完了することができなかった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		設計実績（件）			—	—	1	—	—
成果指標		設置箇所（園）			—	—	—	16	—
他市との比較検証		_____							
C 事業 コスト 建設 事業		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	2,699	352,000	合計	2,698,920円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	2,698,920円	
		一般財源	0	0	2,699	352,000			
	職員人件費②		0	0	211	524			
	総事業費（①+②）		0	0	2,910	352,524			
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0	26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0	_____						
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			空調設備整備事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
10	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	良好な保育環境を提供するために、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		普通	既存設備の状況や、イニシャル・ランニングコストを比較し費用対効果の高い機器選定を行なった。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	施設を利用しながら安全に工事を行なう必要があり、また、全園が一律に保育環境の改善が図られる事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	保育園の整備、充実に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今年度の7月までに幼稚園の保育室に空調機の設置を完了することで、今年の夏の猛暑による園児や教諭の健康不安を低減する。					

会計名			富士松南保育園園舎改築事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実						
	目的	富士松南保育園園舎は築40年が経過し、老朽化が進んでいるため、園舎を改築し、良好な保育環境の維持を図る。	主たる内容	○園舎の改築 ・施工箇所：富士松南保育園北側園庭 ・構造規模：鉄筋コンクリート2階建て ・延べ床面積：1,622㎡ ・その他：外構工事、保育用備品整備					
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
		根拠法令							
		対象者	保育園児、保護者	事業期間	平成26年度～平成27年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		—		—		・新園舎建築 ・備品及び消耗品整備		・既設園舎解体工事 ・園庭整備工事 ・駐車場整備工事	
成果		新園舎建築、備品及び消耗品の整備により、保育環境の改善を図ることができた。							
課題		園庭が利用できない期間があり、園の運営に多少支障が生じた。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
活動指標	整備面積（㎡）		—	—	873.85	2,171.15	—		
成果指標	定員（人）		130	130	160	160	160		
他市との比較検証	施設保全計画に基づいて改修・改築を行っている市・・・安城市 施設保全計画を定めていない市・・・碧南市、知立市、高浜市								
C 事業コスト	単位：千円	24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費①	0	0	507,162	144,000	合計	507,161,906円		
	財源	特定財源	0	0	240,000	72,000	需用費	8,840,836円	
		一般財源	0	0	267,162	72,000	役務費	985,246円	
	職員人件費②	0	0	704	599	工事請負費	479,802,960円		
	総事業費（①+②）	0	0	507,866	144,599	備品購入費	17,532,864円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		651,162	26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費			507,162	公共施設維持保全基金繰入金					
28年度以降の事業費見込			0						

会計名			富士松南保育園園舎改築事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
3	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	良好な保育環境を提供するために、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		高い	建替えることにより、老朽部分による危険性の減少や修繕費用が不要となり、床面積を拡大することで定員を増やすことができた上で、快適な保育環境が提供できた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	園を運営しながら安全に工事を進行する上で、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	保育園の整備・充実に寄与している。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	「刈谷市公共施設維持保全計画」に沿って昨年度に新園舎を建設できたので、今年度は園を運営しながら、既存園舎を解体し、園庭を安全に速やかに完了する。 今後は、「刈谷市公共施設維持保全計画」に基づき、適切な施設管理を行っていく。				

会計名			園舎増築事業				担当部	次世代育成部			
一般会計							担当課	子ども課			
款	項	目					担当係	施設係			
3	2	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	次世代育成・子育て支援								
		施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実								
	目的	東刈谷保育園及び慈友保育園の園舎を増築し、良好な保育環境の維持を図るとともに待機児童の解消を図る。				主たる内容	○慈友保育園給食室の増築 ○慈友保育園給食室を保育室へ改修 ○東刈谷保育園保育室の増築				
	位置づけ										
	関連計画										
	根拠法令										
	対象者	保育園児、保護者			事業期間	平成25年度～平成26年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画			
_____		・慈友保育園、東刈谷保育園増築の設計		・慈友保育園、東刈谷保育園増築工事		_____					
成果		増築して保育室を増やすことで、待機児童対策に寄与できた。									
課題		園庭や駐車場が少なくなり、利便性が多少悪くなった。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度			
活動指標		増築の設計（棟）			—	2	—	—	—		
活動指標		増築工事（棟）			—	—	2	—	—		
他市との比較検証		_____									
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費①		0	14,600	208,548	0	合計 208,548,000円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	使用料及び賃借料 9,288,000円				
		一般財源	0	14,600	208,548	0	工事請負費 199,260,000円				
	職員人件費②		0	351	352	0					
	総事業費（①+②）		0	14,951	208,900	0					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称					
		26年度までの累積事業費		0		_____					
28年度以降の事業費見込		0									

会計名			園舎増築事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	施設係
3	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	良好な保育環境を提供するために必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	既存の敷地内に増築することで、土地取得の必要がなく定員の拡大ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	既存の園舎との関係性を保ちつつ、園を運営しながらの工事であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	保育園の整備・充実に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
定員拡大のため敷地に余裕のある園で、良好な保育環境を確保しつつ適切な増築を行う。					

会計名			民間保育所運営支援事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	2	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	保育・幼児教育の充実							
	目的	家庭内保育に欠ける児童の保育を民間の認可保育所に委託し、保育に係る費用を委託料、補助金として交付し、職員の処遇向上や施設の運営改善等保育環境の向上を図る。			主たる内容	○認可民間保育所への運営委託 ○認可民間保育所への運営補助 ・人件費 ・管理費 ・整備費 ・嘱託医報酬 ・一時保育促進事業 ・保育所用地等補助				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	民間保育施設			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	D 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		・保育に係る運営委託 ・運営補助 ・第二こぐま保育園建設補助		・保育に係る運営委託 ・運営補助 ・親愛の里保育園移転新築補助		・保育に係る運営委託 ・運営補助 ・刈谷ゆめの樹保育園建設補助		・保育に係る運営委託 ・運営補助 ・こぐま保育園増築補助等		
成果		民間保育所に委託や補助をすることで安定した運営を続けることができた。								
課題		安心こども基金、保育対策等促進事業費補助金等の国県補助内容の動向に注意が必要である。また、民間保育所運営に対する株式会社の参入も見込まれており、補助対象、内容等については今後精査する必要がある。								
指標名称（単位）		実績値			目標値					
		24年度	25年度	26年度	27年度	29年度				
活動指標	委託保育園数（園）	2	3	3	4	5				
成果指標	待機児童数（人）	6	4	8	0	0				
他市との比較検証	運営費補助を行っている市・・・碧南市、安城市、知立市 運営補助を行っていない市・・・高浜市									
C 事業 コスト	単位：千円	24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳				
	事業費 ①	468,371	498,314	750,105	879,327	合計	750,105,469 円			
	財源	特定財源	237,387	251,541	428,148	454,088	委託料	335,301,279 円		
		一般財源	230,984	246,773	321,957	425,239	負担金、補助及び交付金	414,804,190 円		
		職員人件費 ②	1,768	1,753	1,760	1,871				
		総事業費（①+②）	470,139	500,067	751,865	881,198				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0		保育緊急確保事業費補助金 保育対策促進事業費補助金 子育て支援対策基金事業費補助金						
28年度以降の事業費見込		0								

会計名			民間保育所運営支援事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	管理係
3	2	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>	高い	民間保育所の事業・建設に対して補助を行うことにより、保育環境の充実化や待機児童解消に向けての対応が図られているので、必要性の高い事業と言える。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>	普通	国・県の子育て支援対策基金等の補助制度を活用し、市の費用負担の軽減を行うことができている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>	高い	民間保育所の事業や保育環境を充実するために市の関与が妥当である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>	高い	刈谷市内の民間保育所の整備、充実に寄与している。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も民間保育所の整備・運営等に支援や補助を行い、職員の処遇向上や保育環境の向上、待機児童の解消を図る。					

会計名			預かり保育実施事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	幼稚園係	
10	4	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	保育・幼児教育の充実						
	目的	通常の保育終了後または長期休業時に、預かり保育を希望する保護者の在園児を預かることにより、保護者の子育て支援をする。			主たる内容	○幼稚園での預かり保育の実施 ・対象者 出産、就労、傷病及び障害がある親族を看護、介護している保護者、緊急な事情で預かり保育を必要とする者 ・実施日 保育が行われる日並びに長期休業中の夏休み冬休み、春休み（3月末日まで）の平日（8月13日から15日、12月29日から翌1月3日は除く）			
	位置づけ	関連計画 根拠法令							
	対象者	幼稚園児、保護者			事業期間	平成16年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 計画 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		利用人数 8,068人		利用人数 18,829人		利用人数 26,839人		利用人数 27,000人	
		成果	就労、母親の通院、祖父母の看護、兄弟の予防接種、学校行事やボランティアへの参加など、保育時間終了後、緊急時に支援が必要な保護者のニーズに応えることができた。						
課題		平成24年度より全園で就労条件を加え、保護者の多様なニーズに応えているが、今後も利用者の増加に伴う対応や保育の在り方について検討する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
活動指標	利用条件の緩和（就労を可能とする園）		16	16	16	16	16		
成果指標	利用人数（人）		8,068	18,829	26,839	27,000	28,000		
他市との比較検証	就労を条件に加えている市・・・碧南市、安城市、高浜市								
C 事業 コスト V	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		800	800	800	800	合計	799,980 円	
	財源	特定財源	800	800	800	800	需用費	799,980 円	
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		2,476	1,753	1,408	1,497			
	総事業費（①+②）		3,276	2,553	2,208	2,297			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0		預かり保育利用負担金					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			預かり保育実施事業	担当部	次世代育成部
一般会計				担当課	子ども課
款	項	目		担当係	幼稚園係
10	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	保護者が就労していても幼稚園へ通うことができる。また、病気やけがなどの緊急時に支援が必要な場合に通いなれたなれた幼稚園に子どもを預けることができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	幼稚園と保育園の連携強化の中での人事交流により、幼稚園における保育が充実する事や、今ある幼稚園の施設で事業を行う事から、効率よく事業が実施できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	幼稚園と保育園の連携強化の中で、公立幼稚園において実施している事業のため市が主体となって行う必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	緊急的に支援が必要になった時や、就労などで子どもを預ける必要が発生した場合に、新たな保育サービスを探さなくても幼稚園で対応ができ、待機児童解消の効果がある。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<p>保育の内容の向上や預かり時間の延長など、保護者ニーズにあった受け入れ対応を行い子育て支援や待機児童の解消などに努める。</p>					